

東京工芸大学 芸術学部

INFORMATION

6/19 7/17
SUN SUN

8/19・20
FRI SAT

6～8月にかけて対面式オープンキャンパスを開催する予定。実際にキャンパスに足を運んで芸術学部ならではの作品展示、プロ仕様の施設・設備の迫力を実感してください。

リニューアルした
受験生WEBサイ
トも要チェック!



世界で最もクリエイティブな都市にキャンパスを一元化し、アート×デジタルの力を追求しメディア芸術の可能性を高めている。アートを表現の世界だけに留めず、ニーズが高まるデジタルを駆使した映像、広告、ゲーム等、多様な業界で活躍できるクリエイティブな人材育成を加速していく。

総合型選抜は表現することへの

意欲・感性・創造力で評価

総合型選抜は、Ⅰ期(10月)とⅡ期(12月)の2回実施する。選考方法は学科ごとに異なる課題(100点)と約15分間の面接(100点)によって行われる。事前提出する課題は企画提案型、論述型、ポートフォリオ型の3タイプのうち学科が指定する内容を提出する。学力だけでは測れない表現への意欲・感性・創造力を図る入試選抜として位置付けているため、入念にポートフォリオ制作をすることが重要。作品制作に自信がなくても、じっくりと時間をかけて取り組み、その可能性は広がるため、ぜひチャレンジしてほしい。

表現力科目=実技試験で選考

一般選抜Ⅰ期にも新たに導入

美術や芸術分野で培ってきた技術や知識を持ち、実技に自信がある人向けの表現力科目が一般選抜Ⅰ期B方式として新たに追加される。学力(英語・国語)のうち上位1科目(100点)と表現力科目(200点)の計300点で選考する。美大を狙う受験生にとっては絶好の機会だ。また、表現力選抜(表現力科目+エントリーシート)は従来どおり12月に実施する。表現力科目は鉛筆デッサン、小論文、身体表現(演技)、マンガ創作力の4タイプから選択して受験する。また成績優秀者はアート・スカラシップに選出されるチャンスがあるのも特徴。

Ⅱ期A方式、Ⅰ期・Ⅱ期B方式は学力試験に加え

それぞれ面接、表現力科目で選考

芸術学部の一般選抜は、全学統一選抜、一般選抜(Ⅰ期A方式・B方式・C方式、Ⅱ期A方式・B方式・C方式)の7つの選抜を実施する。全学統一選抜、一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期の各学力試験の解答は、すべてマークシート方式。一般選抜Ⅰ期C方式・Ⅱ期C方式では、大学入学共通テストの上位2科目のみで選考する。各選抜・方式の詳細は、募集要項を要確認。

奨学金制度による学費減免のチャンスが拡大

芸術学部の入試選抜には、全学統一選抜特待生とアート・スカラシップの奨学金制度がある。全学統一選抜特待生に選出されると、初年度納付金から100万円が減免、アート・スカラシップに選出されると、100万円または50万円が減免される。また、年内入試に合格し入学手続きを完了した人でも、入学予定の学科に限り、入学の権利を確保した上で、この制度に無料でチャレンジすることができる^{※1}。

入学検定料の併願割引

全学統一選抜、一般選抜、表現力選抜を対象に、同一選抜区分内で複数学科を同時に出願した場合のみ、2出願目以降から1出願につき5,000円加算にて受験ができ、入学検定料の割引が適用される。複数の学科に興味があり、併願を検討している方には嬉しい割引制度だ^{※2}。

※1 詳細はホームページで要確認 (<https://www.t-kougei.ac.jp/admission/arts/expenses/>)。
※2 詳細はホームページで要確認 (<https://www.t-kougei.ac.jp/admission/arts/support/>)。

期待する受験生像



芸術学部入試課 課長
大橋 和男

コロナ禍によって世界が大きく変わり、今までの当り前だけでは通用せず、新しいアイデアや行動できる力が必要とされるなか、芸術学部での学びは価値あるものとして注目されています。真っ白なキャンパスに筆で描く、それは日常生活においてゼロからアイデアを創出し表現することに繋がります。芸術だからこそ修得できるクリエイティブな力、表現力を発揮し、芸術業界に留まらず既存の多様な業界で活躍できる人材の育成に貢献していきます。